

講義録レポート

講義録コード 06-11-9-101-17

講 座	社会保険労務士	テーマ	直前対策プレセミナー 「一般常識セミナー」編
目標年	2011年合格目標		
コース	無料公開セミナー	回 数	1 回
用 途	☐ 個別VTR ☐ テープレクチャー ☐ 集合ビデオ		
	☐ Web通信 ☐ DL通信 ☐ DVD通信 ☐ カセット通信 ☐ 資料通信		

講師名	高橋 比沙子 先生	講義録 枚数	1 枚	※レポート 含まず
		配布 レジュメ	1 枚	

配布教材	・配布レジュメ(1枚)
備考	

TAC社会保険労務士講座

社 労 士 講義録

科 直前対策セミナー
目 「一般常識セミナー」編

コース 無料公開セミナー

回数 1回

配布物

★ミニテスト：あり [] なし
★実力テスト：あり [] なし
◇配布物なし★答 練：問題用紙・解答用紙・解答解説
★その他のレジュメ []

講師

高橋(比)先生

テキスト
ページ

黒 板 内 容

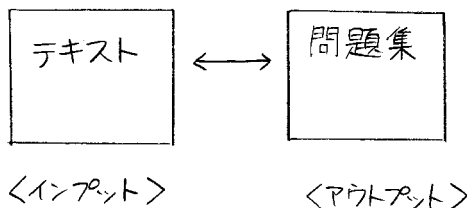
(一般常識)

- ・法規
 - ・白書
 - ・労働経済
 - ・労務管理
- } 対策が立てにくい

(対策のポイント)

- { ① 優先順位をつけた学習
- { ② 問題の解き方の習得

(一般常識セミナー)



(労働経済のポイント)

- { ・大きな傾向をつかむ
- { ・主要数値

レジュメ

1. 一般常識セミナーの内容と目的

労一

白書対策

労働政策→主要動向の把握

労働経済→
 ・変動した数値の把握
 ・基本数値の確認

労働法規

目的条文等確認→選択対策

労務管理

基本知識の確認→選択・択一対策

社一

白書対策

- ・年金制度
- ・医療制度
- ・介護保険

白書の視点で各制度をみる→法規のより深い理解

社会保険法規

目的条文等確認→選択対策

社会保険の沿革

- ・基本知識の確認
 ・法規の理解

2. 平成 22 年度本試験択一問題（一般常識）

〔問 4〕 就業形態の多様化に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

なお、本問は、「平成 19 年就業形態の多様化に関する総合実態調査（厚生労働省）」を参照している。

- A 就業形態別労働者割合は、正社員が約 6 割、正社員以外が約 4 割であるが、正社員以外の雇用形態の労働者のうち、最も多いのは派遣労働者であり、次いでパートタイマー、契約社員の順になっている。（×正解肢）
- B 3 年前（平成 16 年）と比べた正社員以外の労働者比率の変化については、「比率が上昇した」事業所の割合が「比率が減少した」事業所の割合を上回っている。
- C 正社員以外の労働者がいる事業所における、正社員以外の労働者の活用理由は、「賃金の節約のため」が最も多く、次いで「1 日、週の中の仕事の繁閑に対応するため」、「即戦力・能力のある人材を確保するため」の順になっている。
- D 正社員以外の労働者がいる事業所における、正社員以外の労働者の就業形態別の活用理由として最も多い理由は、契約社員では「専門的業務に対応するため」、派遣労働者では「即戦力・能力のある人材を確保するため」、パートタイム労働者では「賃金の節約のため」となっている。
- E 正社員以外の労働者がいる事業所における、正社員以外の労働者を活用する上での問題点は、「良質な人材の確保」、「仕事に対する責任感」及び「仕事に対する向上意欲」が上位の 3 つを占めている。